

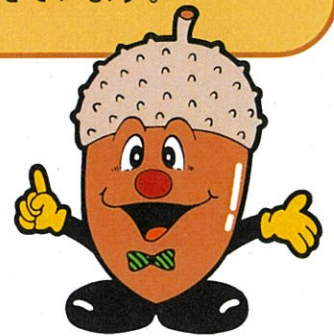
認知症になっても、安心して生活できるまちづくり宣言

村では、平成30年1月1日「認知症になりにくいまちづくり宣言」を行い、認知症予防や早期発見・早期治療に取り組んできました。しかし、認知症は誰もがなる可能性がある病気で、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活ができるまちづくりを目指す必要があることから「認知症になっても、安心して生活できるまちづくり宣言」をします。

宣言をすることで、認知症への偏見をなくし、一方通行の支援ではなく、相互の関係性を築き上げることで認知症の人とともに生きるまちづくりを目指したいと考えています。

宣言文および取り組み内容

- **認知症についての正しい知識と最新の情報を提供します。**
 - ・ 認知症の症状や対応方法などの紹介
 - ・ 認知症サポーター養成講座の開催
 - ・ 講演会や講話、認知症ケアパス配布などによる啓発
- **糖尿病や高血圧などの生活習慣病予防に努め、村民が認知症になりにくい生活を送れるよう食事や運動習慣などの正しい知識を普及します。**
 - ・ 年に1度の健診受診を勧奨
 - ・ 健診後や各種健康教育などにおける生活習慣の振り返りと見直し
- **高齢者の体力・認知力の測定を実施し、軽度認知障害の早期発見に努め、認知機能を改善するための効果的なプログラムを提供します。**
 - ・ 体力、認知力の測定実施と早期発見、早期受診の勧奨
- **高齢者になっても心身ともに元気で、自立した生活を送れるよう応援します。**
 - ・ 高齢者の地域参加・活動の促進、閉じこもり予防
 - ・ 運動教室や各種講座などの呼びかけ
- **認知症になっても、安心して生活できるまちづくりを目指します。**
 - ・ 住民（村民）と関係機関が協力し、村全体で認知症の方を見守るまちづくりの推進
 - ・ 介護についての相談や情報交換ができる場の提供
 - ・ 認知症になっても地域と繋がり、社会参加ができる環境づくり



令和2年1月1日

北海道更別村長

西山 猛